

# 松戸市図書館整備計画(案)パブリックコメント(意見募集)手続きの実施結果を公表します

「松戸市図書館整備計画(案)」の策定にあたり、市民の皆様からご意見を募集したところ、28名の方からご意見を頂きました。ご意見の提出ありがとうございました。お寄せいただいたご意見を整理し、市としての考え方をまとめたのでお知らせいたします。

## パブリックコメント手続き実施結果の概要

- 1 意見募集期間 平成27年3月17日(火)～平成27年4月15日(水)
- 2 意見提出者数 28名
- 3 意見件数 100件
- 4 意見内容 下記の通り

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
1		全体	<p>この度、このような(案)が出されたことを大変嬉しく思います。以前から48万人をかかえる市の図書館本館としておそまつすぎるし、千葉県3番目の人口市なのに近隣、他市に大幅におくれをとっているのはなぜだろう思っていました。ただ、分館が市民センター内に19館あって、住民が歩いて行ける距離に造られているのはいいと思っています。資料を読むと過去には1日あたりの貸出冊数が日本一、年間の貸出冊数が全国5位になったこともあったとか。その頃は東京の隣市として住宅が建ち人口が増え、常盤平、小金原等の団地が出来て、教育熱心な父母が多くなったからかもしれない。図書館はその都市の文化的バロメーターともいわれます。現在は1人あたりの貸出し数、県平均6冊のところ、当市は4.79冊、1人あたりの図書費170円→127円、蔵書数においては平均3.47のところ松戸市は1.19冊で県内最下位、これでは県内3番目の48万人都市が泣きます。この40年間に図書館の有り様も大きく変わり、ただ本を貸し出しするだけの役割だけではなくなってきました。計画案にあるように、図書館は自己実現や地域社会の発展、活性化に寄与する市民生活になくてはならない施設です。高齢化率を少しでも押さえるとするならば、この(案)のような素晴らしい図書館を造って、小さい子どもを持つ家庭が文化度が高くなった松戸に住み続けてくれること、子どもを感性豊かに育てるのに十分な施設があることが第一と思います。そして高齢者も障害者も共に集える場所としても必要です。電車の駅が23もあり、大学も3校、歴史的名所も数ヶ所あるすばらしい市なのだから、後は市の施設の知的度を高めること、計画(案)にあるように、松戸駅周辺に建設することによって、商店街の活性化にもつながります。この計画が実現されれば、松戸市の発展に大きく寄与することと思うので、ぜひ実現して頂けますよう望みます。</p>	<p>図書館が「あれば便利」という施設ではなく、市民の皆様にとって「なくてはならない」身近な施設となるよう、様々なサービスの充実に努めてまいります。また、市民の皆様が誰でも集い、交流できる図書館として地域の活性化に寄与できるよう計画の実現に向けた取組みの推進に努めてまいります。</p>	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
2		全体	<p>短期間で案の策定に至ったこと、委員の皆様・事務局の方々のご苦勞に敬意を表します。現状分析に基づく、無理のない計画と読みました。とはいえ、県下最低レベルの図書館という状況をなるべく早く改善するため、着実に実施されることを切望します。</p>	<p>今後とも計画の実現に向けた取り組みを推進してまいります。短期的な課題についても、改善に努めてまいります。</p>	なし
3		全体	<p>図書館なんて時代遅れのものに汲汲とせずいつそ止めたらどうか。やめてこそ存在意義がわかる。市役所だからと言って足りない予算で何でもやろうとしないで、不要不急な業務は一度止めることを提案する。そこで大問題が発生したら、市民の方から是非実施してくれという声になる。総合政策部を中心に各組織の横断的なプロジェクトチームで全体を俯瞰して見て欲しい。【提案】1. 目的を明確にする何がしたいのか、何をしなければならないのかを一から見直す。例えば情報収集なのか、憩いのサロンなのか、地域交流なのか、学習する場所なのか、2. 利用者の意見を聞く一度休館して見ればわかる。本当に困っている利用者ならば苦情が続発する筈である。そして、それが誰もが納得するようなものであれば是非採用すれば良い。一定期間利用者からモニタリング調査して何をしているのか何がしたいのか把握すべきである。3. 民間を巻き込む街の本屋から最新図書を提供して貰う、古本屋から大量の本を提供して貰う、IT業者からインターネット環境を提供してもらう、コーヒーショップと提携など、幅広く総合的にあるべき姿を模索する。</p>	<p>これからの図書館は単に本を貸し出すだけでなく、本を通じた人々の交流による新しい知識の創造を生み出すことや、よりよい地域コミュニティの形成に寄与することが期待されています。図書館が所蔵する様々な過去を知ることができる資料は、未来を考えるためにも必要と考えております。今後の図書館の目的(目指すべき図書館像)については、計画書の中において記載しております。</p>	なし
4		全体	<p>松戸の図書館があまりにも貧弱なので何とかならないか？と「オーイ図書館」という勉強会を始めてから、22年がたちましたが、一向に事態は進展しません。川井市長時代はかえって後退した感じがあります。図書館なんぞ儲からないものは無用の長物とされていたのでしょうか！供し、諦めないで、運動を続けているうちに市長が代わり、陽がさしてきたようです。市立病院問題が片付きましたら、次は図書館のことを最優先課題として採り上げて下さい。</p>	<p>新しい時代の図書館サービスを充実させるため、可能なことから実現に努めてまいります。</p>	なし
5		全体	<p>常世田先生方の情熱が消えないうちに実現化しないと又「ものもくあみ」になりそうで心配でたまりません。物事には潮時というものがありますから。図書館の良し悪しはその街の知性というか品位を現していると思います。松戸に住む人達が誇れる、頼りになる図書館を、ぜひ近いうちに造って下さい。</p>	<p>図書館という公共空間は街の姿が現れる場所と考えております。図書館が市民の皆様の可能性を実現するお手伝いができるよう努めてまいります。</p>	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
6		全体	<p>整備計画案を拝見しましたが、全体的に机上の空論といえますか、抽象的な言葉が飛び交うばかりの内容で、これで今の時代に即した図書館ができるかと本気でお考えなのでしょうか。「まなび、つながる、どリーむを実現・・・」というこのお題目だけ見ても、昭和の臭いが色濃く漂う時代錯誤を感じます。そのあとに並ぶ「知との出会い」「くらしや仕事に役立つ」などなど、図書館としての当たり前の機能を並べただけですね。委員の方のお名前を見ても、学者、教育委員会などばかりで、こういう方々と市役所とで新しい形の図書館を作れるのか、甚だ疑問です。なぜこの時点から民間(企画会社、運営会社)を入れないのでしょうか？</p>	<p>本計画書は、図書館の基本的な役割や、これからの時代に期待される役割を踏まえて策定しております。また今後の具体的な図書館の運営については、自治体による直営、指定管理者制度の活用、民間業務委託に係わらず他自治体の先進的事例を参考にして、目指す将来像を実現するため、より良い方法を検討してまいります。</p>	なし
7		全体	<p>先日、武雄市図書館を訪れる機会がありました。現時点における、日本の図書館のひとつの完成形であると認識しました。ここは蔦屋が企画から運営を手がけていますが、こういった先進的な企業のアイデアや運営力を借りることこそが、松戸の図書館計画に必要なと思われる。近隣では葛飾図書館も素晴らしい図書館ですが、隣の市が真似をしてもしょうがないので、あらたな図書館モデルの構築が必要でしょう。もちろん松戸市でも色々と具体的なお考えはあるのですが、あの計画案を見るに古臭く、まとまりがなく、市民に受け入れられない方向に進むのではないかと心配です。あの整備計画のセンスでいったいなにができるのか、予想もつきませんが、とにかく民間の力を借りてください。どこの誰に頼んでいいのかわからない、ということで、今の状況になっていると推察しますが、よろしければ相談に乗りますよ。多少の人脈もありますのでご紹介は可能です。別に紹介料などいただきませんのでご安心を。</p>	<p>今後、具体的な図書館の運営については、自治体による直営、指定管理者制度の活用、民間業務委託に係わらず他自治体の先進的事例を参考にして、目指す将来像を実現するため、より良い方法を検討してまいります。</p>	なし
8		全体	<p>図書館を整備しなおすのだったら、ぜひ変えてほしい。図書館が本当に市民の役に立っているのか？利用する人は利用するが、ほとんど行かない人が多い。自分も一度も行ったことない。こんな図書館に、税金、使う必要があるのか？司書もたくさんいて、人件費もたくさん使っている。もっと規模を小さくして、分館もへらすべき。年間予算も毎年、すごい金額使っているというし、慈善事業やる必要ない。今はインターネットで、ほとんど調べられると今後、図書館はムリして置く必要ない。むしろ、図書館なくして、税金、下げてほしい。インターネットの普及で、もう本はいらなくなる。必要ないものに、お金を使う必要はない。</p>	<p>インターネットの時代になり多くの情報が容易に得られるようになったように思われますが、情報の真偽の判断が必要な場合、より詳しい情報が欲しい場合など、情報の専門家である司書の役割は、ますます大きなものになると考えております。また、インターネット上の情報は長期間の保存が常に約束されているわけではないため、インターネットの時代であっても本は必要と考えております。</p>	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
9		全体	<p>松戸市図書館は数が多すぎると思います。現在本を読む人はだんだんへっていきっているのに、こんなに必要でしょうか？半分でよいと思います。そして図書館の予算も半分にへらせば、ムダがなくなります(税金)図書館の本が、とても片寄っていると思います。司書だけが選ぶのではなく、もっと開かれた選定をやるべきで、市民も交代で、選定に参加させるべきです。全国の図書館で同じような本が入っているのは、そういうマニュアルがあり、その通り入れていると思われる。図書館で税金がたくさん使われているようです。(2億4千万円)それに、まだいろいろ使って、本当に市民に必要でしょうか？税金へらして、自分で買って読むほうが、好きな本を読めてよいです。図書館はもう時代にあいません。そろそろやめる時期にきていませんか？</p>	<p>これからの図書館は、単に本を貸し出すだけでなく、本のみならず新聞記事やインターネット上の情報源、データベース等の様々な情報を提供し、人々の暮らしや地域の活性化に役立つことが期待されています。また、本を通じた人々の交流による、より良い地域コミュニティの形成に寄与することも期待されています。</p>	なし
10		全体	<p>図書館のあり方に非常に不満を感じています。第1に年間図書購入費7,000万円位です。いくら税金とはいえ、市民は驚くと思います。なぜなら年間5万冊くらい買っては5万5千冊位処分しており、図書館は出版社を養うためのお店になっています。この大量の税金を、片寄った出版社に流しているのが現状です。廃棄した本は松戸では再生紙工場に出しており、浦安ではクリーンセンターで焼却処分しています。こんな図書館本当に必要ですか？そして分館と合わせて20館もあり、年間支払っているパート代1億円です。これにもびっくり仰天。近くの読書推進センターも利用者が少なく不用です。松戸市は予算がよほど多いのだらうと思いますが、これはムダです。そして早く指定管理者制度に移行して、税金の無駄を省くべきです。もう一つ、教科書を図書館に入れない理由がはっきりしません。文科省は昨年から、市教委に対してもアンケートを取り始め、国は早く整備したいと願っています。税金で運営しているのに、図書館は民意を反映しません。市民にもっと知ってもらわうつもりです。この図書館の不誠実を。</p>	<p>今後、具体的な図書館の運営については、自治体による直営、指定管理者制度の活用、民間業務委託に係らず他自治体の先進的事例を参考にして、目指す将来像を実現するため、より良い方法を検討してまいります。浦安市は除籍した本のリサイクルもしており、松戸市も同様にリサイクルしている本がございます。また、松戸市立の小学校、中学校、高等学校で使用される教科書は所蔵しております。</p>	なし
11		全体	<p>現在、図書館には教科書が入っていません。教育委員会も入れないでよいと言いました。おかしくないですか。文科省は25年も前から入れるよう「通知」を出しています。(3度も)こういった要請に、少しも答えない図書館は市民のものではありません。昨年、文科省が全国調査やると500位入っていたそうです。どうして松戸だけ入れられないのですか。図書館はあらゆる情報がすぐ手に入るという使命があります。教科書も入れられない図書館は図書館とは言えません。書棚2つしかありません。そして見本本は大量にあるはずで、入れるべきです。</p>	<p>松戸市立の小学校、中学校、高等学校で使用される教科書は所蔵しております。また、松戸市で使用されている以外の教科書につきましては、東葛飾教育事務所にある教科書センターで閲覧が可能となっております。</p>	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
12		全体	図書館はほとんど利用しません。もう目が疲れて本を読めないからです。よく考えてみると、高齢者は、ほとんど行かないのに税金は平等に納めます。これは、不公平ではありませんか。だいたい、図書館が本当に必要かどうかアンケートとってみてはどうですか。一年に、何度利用しているか。利用する人が少なくなってくれば、もうインターネットの時代で、本は必要でないですから、やめてもよいと思います。時代に合わせて、制度も変えていくべきで、何もムダなことに、税金を使う必要はない。一度、市民に本当に図書館は、必要かどうかアンケート、とってみてください。	インターネットの情報は多くの場合、信頼性において玉石混交です。情報化社会が進展する中、正確で体系的に蓄積された図書資料や、信頼できるインターネット上の情報源、データベース等を比較検証し、確度の高い情報を基に市民の課題解決を支援する図書館の重要性は益々高まると考えます。また、人々がインターネットの環境の有る無しに係わらず、誰もが平等に情報にアクセスできることを保障する図書館は、社会的インフラとして重要な役割を担っていると考えております。	なし
13		全体	私がパブコメを募集していることを知ったのは小金原図書館にて、その広報が行われていたからです。日頃よく世話になっている小金図書館の場合は、募集資料は引き出しの中にしまわれていました。他の図書館も似たようなものかもしれません。資料をみると松戸の図書館はどの項目をとっても、千葉県内で最低最悪と自認されているようですが、にもかかわらず、こういう不十分なパブコメを形式的に行って済ませてしまおうというのでは、新図書館もそう期待できるものではないと思う。十分なパブコメのやり直しを求めます。	小金分館では他の資料との兼ね合いにより、一時期、計画書(案)をカウンター内で保管しておりました。手違いがありましたことをお詫びします。パブリックコメントの期間に関わらず、図書館の運営等についてのご意見は、日々受け付けておりますので、今後の図書館整備計画の実現に関しましても、日頃からの市民の皆様の声を反映させていただきます。	なし
14		全体	計画書のレイアウト・デザインがほとんどされていないことから、手に取りにくく、特に若い世代が関心を持ちにくいと思われるので改善してほしい。	若い世代にも関心を持っていただけるよう、計画の周知方法等を改善してまいります。	なし
15		全体	この冊子を見る限り、視覚的にデザインに興味のない担当者であることが想定されるため、図書館が心地よい空間になるという希望を持ちにくい。	空間については、今後策定を予定している基本計画や基本設計などの中で、専門家の意見も取り入れながら検討してまいります。	なし
16		全体	講堂を併設して地元出身の方の講演や昔の松戸についてのレクチャーなど様々な企画を行い、松戸の魅力を発信して欲しい。	松戸の歴史や文化を知る資料を活用し、松戸の魅力を発信することは、文化発信拠点としての図書館の重要な役割の1つと考えております。	なし
17	2	(1)計画策定の背景、目的	計画の背景・目的と位置づけは異見なし。	今後とも計画の実現に向けた取り組みを推進してまいります。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
18	4	(2)計画の位置づけ	本計画は、基本計画や基本設計(実施計画?)を策定する前の基本方針(基本構想)と位置づけているが、それなら基本方針や基本構想といった計画名称にすべき。名称が計画だけでは、後に基本計画などが出来た場合に位置づけがわかりづらい。また、計画でとめる名称は各計画の全体を示すものでなければならない。	本計画は、基本構想と位置づけておりますので、副題として「松戸市立図書館が目指す図書館像」を追加します。	あり
19	4	(2)計画の位置づけ	「松戸市社会教育計画、松戸駅周辺まちづくり基本構想、松戸市公共施設再編整備基本方針等との整合性も図っています」とあるが、まだ決まっていないこれら3計画と整合性を図ったとはどういうことか理解に苦しむ。(行政職員同士で合意をしたということか?)ましてや、松戸駅周辺まちづくり基本構想は財政的裏づけを度外視して作った計画である。まさに「絵に描いた餅」である。また、同基本構想内では図書館という言葉もでていない。何と、どのような整合性をとったのか。この部分は「これから、整合性をはかるべく検討します」ぐらいの表現にすべし。また、松戸市公共施設再編整備基本計画は平成28年度の作成予定と聞いている。図書館整備計画の基本計画(特に施設部分)は、それ以降の策定予定と思うが、計画期間も含め、どのようなスケジュールになっているのか。第6章に明記すべし。	図書館整備計画を実現するにあたり、本市の他の計画との整合も必要と考え、主だった計画を記載いたしましたが、ご指摘のとおり策定されていない計画もあることから、「整合性も図ってまいります」と修正いたします。基本計画の具体的な策定予定については未定です。	あり
20	4	(2)計画の位置づけ	各所で意見を述べてきたが、やはりこの計画書の位置づけが不明確であることに行き着く。本計画書は、1)現状の図書館の短所・欠点を何年間かけて(それすらも不明であるが)是正するための計画書であるのか、(整備と銘うっているので納得もできるが)それとも、2)何年か先を見つめた新しい図書館のありようを示めす計画書なのかである。第4章や第5章をみると、内容が部分的であり、前者(1)とも思える。後者(2)というなら、現在の長所(分館数や市民センターと施設一体の分館など)や既存事業について、今後どのようにするかの基本方針を示す必要がある。その上で原案の施策は重点施策であると宣言すればよい。いずれにせよ、それらを明示する必要がある。	p.2.3.4のとおり今回の整備計画は、松戸市立図書館の目指すべき将来のあり方、方向性を示し、今後の具体的な図書館整備及び建設計画の基本となるものです。	なし
21	4	(2)計画の位置づけ	図書館法には「社会教育法の精神に基づき」と明記され、図書館奉仕活動は社会教育における学習機会提供そのものとして位置付けられています。よって、松戸市図書館整備計画から見た松戸市社会教育計画は、その他諸法令と同等ではなく、松戸市総合計画に次いでその主旨に則り実現に与すべきものと考えられます。この計画書の冒頭にはその旨の意思表示が必要であると考えます。	「松戸市社会教育計画の基本理念の実現を担う機関として、これからの図書館の目指す方向性を定めており、」をP.4(2)計画の位置づけに追加します。	あり
22	4	(2)計画の位置づけ	本計画は、基本計画を策定する前の基本方針(基本構想)との位置づけとしているが、それなら基本計画の計画期間を明示すべき。そうでないと、その計画期間内の方針として妥当か否かの判断ができない。例えば、5年間、10年間、30年の基本計画では方針の意味合いは大きく異なる。	今後の基本計画の策定において検討してまいります。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
23	5	第2章 松戸市立図書館の現状と課題	図書館についての各種データが掲載されている。しかし、費用についてのデータが掲載されていない。松戸市公共施設白書141ページ以降の「コスト状況」を掲載すべきと考える。図書館の収支状況や館別の貸出1冊あたりのコストなどを提示し、コストに対する行政の認識を示した上で、市民に正しい判断を仰ぐことも必要であろう。同白書では、分館に施設費が含まれていないことは承知しているが、単独施設と共用施設のコスト差異分析も必要であろう。また、本館の貸出コストが、1冊につき1,635円の原価分析も必要であろう。なお、同白書の当該箇所の一部に誤りがあり、3月28日現在修正版はホームページにアップされていない。担当課に正しい数字を確認されたい。	今回の整備計画は、図書館の方向性を示すものです。図書館の運営コストについては、今後の具体的な建設計画等において必要になると考えております。H21年度から23年度の3か年の数字を基にした公共施設白書のコスト計算は、ご指摘のとおり数字の誤りがありました。今後の建設計画等における運営コスト計算については、直近の数字で検討してまいります。その際は、運営コストとともに図書館サービスの期待される効果も含めて総合的に判断してまいります。	なし
24	7	(2)図書館施設の現状	新松戸を利用しているが閲覧場所と書籍棚が分離していない。スペースが狭すぎる。新聞を読む老人が多いが新聞をめくる音がやかましい。職員は注意しない。子供用の本は置いてあるが児童や学生は読める場所がない。書棚の上に新聞を置いて読んでいたり、書棚の前で本を読んでいる人がいる。書棚の閲覧にきわめて邪魔になる。マナーが悪い。ともかく閲覧場所をもっと静かにゆっくりできる場所にできるスペースがない。整備計画記載の理想論以前の問題である。	分館の利用についてご不便をおかけしております。マナーにつきましては、お互いに気持ちよくお使いいただけるよう、引き続き啓発に努めてまいります。	なし
25	7	(2)図書館施設の現状	文中に「約6割の市民が利用」とあるが、これはアンケートの中のひとつの設問に対する回答者の数字であって、図書館の本来目的での利用者の割合ではないだろう。(学校の自習利用、暇つぶしなどのサロンの利用等々)むしろ、同調査での「社会教育施設で調べ物」が21.8%(複数回答なので市民割合はもっと減る)であること、また、図書館要覧平成26年度の利用登録者数(過去に登録した人の累計数で、実数よりも多くなる)でも市民数の45%であること、さらに本計画書の15ページで「実貸出利用者は10%強」としていることから、この数字(6割)は単純に信頼できないものとする。誤った数字で立案した政策は、有益にはならない。抹消すべき。	社会教育課が実施した「社会教育に関するアンケート調査」において「約6割の市民の利用」という結果については、計画策定の参考となるものと考えております。なお、松戸市図書館整備計画(案)では、アンケート調査結果及び図書館利用状況から現状を整理し、めざすべき方向性を述べています。	なし
26	7	(2)図書館施設の現状	施設のスペース不足から「滞在型図書館として過ごすことができない」としているが、学校授業の自習・復習や暇つぶし場所の提供が図書館の本来機能とは思えない。また、アンケートに見られるように、生涯学習場所の多くは自宅や社会教育施設外である。この箇所を問題として特筆する必要はない。抹消すべき。	多種多様な本や、データベース等の様々な情報を活用し、十分な調査研究を行うには、落ち着いて利用できる場所が必要と考えます。また、能動的な学びの場としてグループで議論できるような空間や、図書館が提供する知識や情報を仲立ちに人と人をつなぐには、人々が交流できる空間が必要と考えます。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
27	7	(2)図書館施設の現状	まず中央図書館の新装では床面積の拡大を望む。生涯学習の拠点たる視点で市民とのまちづくり、コミュニティ交流の場として基本理念の実現に場所取得と建設の予算化を望みたい。またこれが県内人口1人当たり蔵書数最低の汚名から脱出する手法にもなる。適地確保難行の場合は県立西部図書館の移譲を図り大幅な改修による実現の手段は県と模索する事も選択肢の一つであろう。	目指すべき図書館像を実現するには、床面積の拡大も含めた中央館の充実が必要だと考えております。具体的な施設整備の内容については、今後策定を予定している基本計画や基本設計などの中で検討してまいります。	なし
28	7	(2)図書館施設の現状	すべての施設が老朽化、狭溢化している現状があるが、現在の息が詰まりそうに狭い分館や、話し声さえはばかれる幼児・児童コーナー、狭く座り心地の良い閲覧席では、利用者は図書館に「貸し出しは行いますがすぐに帰ってください」と言われているかのようである。残念ながら、図書館が利用者(特に子どもたち)を喜んで迎え入れよう、本をゆっくり選んでもらおうという思いが、伝わってこないように感じる。利用者がのびのびと本を手にとって選べる雰囲気づくりが必要である。地域館や分館においては、図書館内に閲覧スペースが設置出来にくいならば、館内の別室に年齢に対応した閲覧室やコーナーを設け、読み聞かせや資料の紹介などができ、さらに飲みもの・軽食なども持ち込めるように(カフェや喫茶室を併設するのもよい)、図書館が包括的にリラックスした雰囲気をつくることが求められていると感じる。	分館については、分館の役割や機能の見直しを図った上で、今後必要な整備を検討してまいります。その中で「地域の広場」のような図書館の在り方も検討してまいります。	なし
29	7	(2)図書館施設の現状	市内の図書館・分館は、居心地のいい空間とは言えない。本を借りに行くだけで、長時間、滞在して学ぶ場にしようという気持ちにならない。	分館については、分館の役割や機能の見直しを図った上で、今後必要な整備を検討してまいります。	なし
30	7	(2)図書館施設の現状	今の図書館・分館は、行くだけで悲しい気持ちになる建物ばかり。和名ヶ谷のプールに併設された小さな分館のみ居心地がよい。	分館については、分館の役割や機能の見直しを図った上で、今後必要な整備を検討してまいります。	なし
31	7	(2)図書館施設の現状	蔵書の確保について「松戸という地域に本が少ない」とは感じません。なぜなら、図書館に無くても古書店、書店などで容易に見つけ、購入することができるからです。アンケートでも「自分で購入するから図書館は利用しない」という声が多くあることからそれは明白です。けれども、松戸市図書館の蔵書数は近隣の市の比べて少ない。では不足している分を全て買って補うのか？それでは予算がいくらあっても足りません。大々的に寄贈図書募集や古書店とのタイアップ古書修復や蔵書登録のためのボランティア募集などをおこなってはどうか。	市民の資料要求に応えるという図書館の役割を実現するには、人口1人あたりの平均蔵書数が県内最下位という現状を改善する必要があると考えます。規模については、同規模自治体を参考に、十分なサービス提供ができる環境整備に努めてまいります。	なし



No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
32	10	(3)管理運営体制	もう一つの不満は現状の図書館での人材配置です。アルバイトと思われる方が貸出手続きなどされていますが、その後方では時間を持って余すかのように雑誌に読むふける市役所職員の姿がみられます。いつ訪れても、彼らは手持ち無沙汰なご様子。なぜこのような状況でアルバイトを雇用しているのか、理解に苦しみます。人材の適正な配置を求めます。	今後とも図書館サービスの中核となる司書を含め、図書館職員の適正配置に努めてまいります。	なし
33	10	(3)管理運営体制	パート所員もいるかと思うがもう少し図書館員の基本を研修した方がよい。スーパーのレジではないので大きな声で有難うという必要はない。老人が多いので声が大きくなるかも知れないが図書館は基本的にできるだけ静かな環境で利用することを判っておいてほしい。	今後とも研修等を通じ、職員の資質や能力の向上に努めてまいります。	なし
34	10	(3)管理運営体制	図書館を度々利用させて頂いています。窓口の職員同士の会話が気になる 때가有ります。というのは予約や延滞について職員同士が話をする時に利用者名(書籍名も)を出すことがあり、場合によっては個人の特定が可能ではないかと思われます。また利用者に電話をかける時も仕方が無いのかもしれませんが、図書館内にいると内容が聞こえることが有ります。延滞であったり予約の図書名であったり、もちろん電話の利用者の名前(時にはフルネーム)もです。人は近所の図書館を使うと思います。ということはその会話を聞いているのがごくごく近隣の人である可能性は高いので、正直気分はよく有りません。図書館という場に置いて個人情報取り扱いについての意識が薄いのは、役所窓口での対応等(市役所の待合席が相談窓口のすぐ後ろで相談内容が聞こえるレイアウト・手続き内容を大きな声でいいながら名前を呼ぶ職員など)に繋がるものがあると思われます。市として個人情報の取り扱いに関して慎重になるようにして頂きたいと思ひます。	図書館のご利用ありがとうございます。ご指摘いただきました個人情報の取り扱いには十分な配慮が必要であることから、引き続き職員への注意喚起を行ってまいります。	なし
35	10	(3)管理運営体制	開館時間、平日1日だけでも21:00までの実現を。アンケートによる利用しない理由の時間がないは利用したい人の生活時間とのミスマッチにあると思う。職員の就業を考慮するならローテーション方式もあり、開館を遅らせる日があっても社会の多様性に合致するかもしれない。次に司書は少なくとも職員の50%を確保していただきたい。	開館時間については、多様化している生活スタイルを考慮し、運営方法を検討してまいります。司書については、図書館サービスの中核ですので、引き続き適正配置に努めてまいります。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
36	10	(3)管理運営体制	図書館で一番大切なのは蔵書数ではなく、まさに人『図書館員の資質』の部分である。この項目が上位に記載されていることを嬉しく思います。それと同時に、その部分が欠如していると認識しているならば、言葉だけでなく、思い切った実際の行動をとって頂きたいと思います。常々、松戸市の図書館に、「浦安市立中央図書館司書の伊藤明美さん」のような人材がいて欲しいと思っています。63ページの『研修』にも関係しますが、「東京子ども図書館」や「松岡享子さん」「脇明子さん」「小幡章子さん」等、本当に子どもの本を理解している方々の研修を企画したり、また、彼女たちから紹介された素晴らしい人材を引っこ抜いてくるくらいのことをしてほしい。蔵書や目新しさで勝負する金町の図書館や佐賀の武雄市の図書館を目指すのではなく、本当に本の持つ力を理解する浦安の図書館を目指してほしい。また、45ページにも関係するが、そういった素晴らしい図書館員を小学校や学童保育(できれば柿の木台小学校の学童に!)の現場に足を定期的に運んで頂き、本の魅力や楽しさを熱く伝える活動もしてほしい。	これからの図書館員は、積極的に外部に出て行くことが図書館サービスの広がりや市民の理解につながりますので、今後具体的に検討してまいります。人材については、喫緊な課題と認識しておりますので長期的な育成計画とともに、早急な対応策を検討してまいります。	なし
37	10	(3)管理運営体制	(3)管理運営体制は前の項から考えると、「管理運営の状況」の方が適切では。	(3)管理運営の状況という表記に修正いたします。	あり
38	12	(4)資料収集状況	新松戸では女性作家の書籍に偏りきちんとした図書が体系的に揃っていない。市民の税金で読み捨てられるような図書を購入することは見識が無さすぎる。単価が高くてレベルの高い図書を購入すれば所蔵図書の価値は古くなくても低下しない。娯楽本も購入してよいがもっと基本的な価値のある書籍を意識して購入すべきである。新聞や雑誌の書籍評を読んで購入本を決めている様子は全くない。購入担当者の教養レベルが低いのか?もう少し勉強して良い図書を置いてほしい。単価の高い本こそ個人では買えないので図書館で購入すべきである。図書購入の基本方針が理解できていない。	資料の収集については、松戸市立図書館図書選定基準及び松戸市立図書館資料収集方針に基づき行っており、各施設の規模や機能に応じた蔵書構成に留意しております。	なし
39	12	(4)資料収集状況	蔵書内に既に同じタイトルの単行本がある場合、文庫本は購入しないようにするのはどうか。但し、改訂版は購入する。例:猫弁シリーズ(大山淳子著)「麒麟の翼」(東野圭吾著)	資料の収集については、松戸市立図書館図書選定基準及び松戸市立図書館資料収集方針に基づき行っています。複本については、基準に則り、個別資料の状況を考慮しながら、図書選定会議の中で検討してまいります。	なし
40	12	(4)資料収集状況	情報拠点として全国紙・地方紙・業界紙をどう考え、取り扱うかが課題だ。確かにデータベースによる主要新聞の概要は読み取れるが、現状の様な報道・解説の差異や問題の切り込み方が変わっていた時代で地方紙を知りたいニーズに応えられていない。スペースと予算の問題は内在するが、現状でよいのか課題として頂きたい。	地方紙の全てではございませんが、地方紙も含めた新聞記事が検索できるデータベースが本館3階でご利用できます。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
41	12	(4)資料収集状況	やはり松戸市では図書館の蔵書数が人口規模に対して少ないため、大幅に蔵書を増やす必要を感じる。現在の図書館での収蔵が困難ならば、蔵書を収納する書庫を新設する必要がある。広報誌や学校や団体などで図書館の使い方を広報し、利用者へのリクエストサービスをさらに推進することで、貸し出しへの対応が可能ではないか。また、書庫は閉架式で自動書庫化することで、図書館職員の方の労働力を削減でき、利用者の時間を短縮する事が可能である。また、BM(移動図書館車)台数を増やす事も蔵書を増やすために役立つのではないだろうか。現在、BMは高齢者施設への巡回や寝たきりの方への宅配などを行っているが、それに加え、自宅在住の高齢者に対するサービスや、両親ともに働いている子どものための放課後時間クラブなどへのサービスも必要である。アウトリーチサービスのポイントを増やし、貸し出しを行ってはどうか。そして、さらに蔵書を増やすためには、図書館が市内の学校図書館と連携し、蔵書の共有と物流体制の確立を視野に入れる必要がある。これは相互的に資料の利用促進にもつながる。	書庫は喫緊の課題と認識しておりますので、早急に改善に向けて努力してまいります。図書館のPRも図書館を理解していただく上で様々な方法が必要と認識しております。その他のサービスの向上策についても、引き続き様々な角度から方策を検討してまいります。	なし
42	15	(5)利用状況 1 利用登録者数	「登録者数は、22万3,932人と利用登録者は年々増加」とあるが、この登録者数は、市外への転出など資格喪失者の抹消がされていないため、数が増加したあたりまえである。実質は減少しているかも知れない。むしろ図書館要覧にある新規登録者数に注目し、転入者や資格年齢到達者など新規登録資格者の数と対比してみるべき。その割合が増えていけば「増加傾向にある」といえるのではないか。	実貸出利用者の割合が低いと認識しており、新規登録者も減少傾向にあります。	なし
43	15	(5)利用状況	登録数の割に貸出実績が少ないのは利用目的が趣味・教養に占められている事と来館への魅力度、開館時間の問題、そしてどこにあるかわからないという認知度が複合していると考察する。1つは広報まつどに於ける図書館特集(保存版)1つは立地近くの案内板デザイン的大幅改定、1つは先述の分館の特色づけと役立ち性向上等々	図書館については、現在のところ広報まつどでの特集記事や案内版での周知等を行っておりますが、さらに多くの方にご利用いただけるよう、様々な方策を検討し、実現に努めてまいります。	なし
44	19	(5)利用状況 5 児童サービス	どんなにニーズがあっても、話題の新刊本(例えば村上春樹、直木賞受賞作等々)を大量購入することは止めて欲しい。特に、絵本、児童書については、評価の定まっていない新刊本はいらない。100万部以上売れている本や、20年以上売られ続けている名作を揃えて欲しい。また、海外の作家の場合は、大塚勇三や渡辺茂雄といった素晴らしい訳者のものを選んでほしい。駄訳のものはいらない。銀座教文館ナルニア国の蔵書を参考にしてほしい。	知的創造や文化の発展に寄与するために、適切な選書、収集方針に基づき選定を行っております。児童書においては、将来に渡り長く読み続けられていくものを積極的に収集し、昭和41年より現在に至るまで「子どものためよい本のリスト」(現在の「こどものほんだな」)として紹介しております。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
45	19	(5)利用状況 5 児童サービス	若い親の世代はイベントを好む傾向があるので、家族ぐるみで参加出来る、「図書館祭り」のようなイベントを行うことで、子どもをはじめ親や祖父母の世代までを図書館に足を向けるきっかけ作りとなるのではないかと。「図書館祭り」は家庭や地域で読書普及活動を行っているボランティアをはじめ、松戸市、学校や団体などの協賛を得て、市内をあげて行うものであるとなおいいと思う。さらにイベントは1日限りでなく、定期的に数日をとおして行う事で、部活動や習い事などで忙しい子どもたちに来館してもらうよい機会となるであろう。おはなしかいはもとより、子どもたちに人気の児童文学作家の講演会や、学校の図書委員や文芸部などの児童生徒によるビブリオバトルやブックトークなどYA世代をターゲットにしたイベントが必要である。子どもたちによく選ばれた本や情報を手渡す専門家として、地域や学校から図書館が求められているように感じる。そのため、図書館員による各家庭へのブックスタートサービスや、小、中、高校における朝の読書活動のすすめや本の紹介などといった地域や学校との連携が必要である。	学校や家庭、地域の方々と連携して、引き続き様々な角度から方策を検討してまいります。また、図書館をヤングアダルト(YA)世代の活動拠点にして様々な事業を行うことは、YA世代の読書活動の活性化につながる有効な方策と考えております。	なし
46	24	(7)アンケート 結果	本計画(案)の策定にあたり、パブリックコメント募集を1ヶ月間かけて実施されたことに、松戸市としての真剣さを感じました。ありがとうございます。昨年6月に審議会がスタートして以来、傍聴を続けて参りましたが、毎回の審議内容が充実していることが大変嬉しく、足を運ぶことが楽しみでした。委員の方々、及び事務局の皆様のご努力に敬意を表します。二十数年前の松戸市長期総合計画・実施計画に、市立図書館本館の建て替え計画が盛り込まれてから、長い年月が経過しましたが、いよいよ待ちに待った大きな一歩が踏み出されたことに期待が膨らみます。過日発表されましたが、市の玄関にあたる松戸駅周辺の整備計画の中に、新図書館が組み込まれ、松戸市が一新されることを夢見ております。図書館は、まちづくりの中心であるべきだと思いますから。本計画(案)は全体的にみて、私たち市民の思いをくみ取り、網羅されていると思いますが、更に付け加えたいことなどを述べさせていただきます。「図書館を利用したことがない」が多いが、その理由から見えてくるのは、利用者が市内の図書館を諦めて、他市(市川・金町など)を利用してしまっているのではないかと。図書館による広報活動など、市民への働きかけの工夫が必要とも思うが、現図書館のままでは、施設整備・職員体制に限界を感じる。	図書館の理解の促進に積極的な広報活動を行うとともに、図書館サービスの中核を担う専門職員の充実を図ってまいります。新しい図書館の建設を待つまでもなく、既存の図書館においても改善を進め部分的リニューアルも含め検討してまいります。	なし
47	26	(7)アンケート 結果	最近はやりのデジタル、ネット検索では味わうことのできない、図書館という器の持つ一貫性を重視してほしい。また、新刊本ばかりが並ぶ書店では味わえない本の奥深さを感じられる場所であって欲しい。テクニク本、ハウツー本ばかりでなく、人としての豊かさを子供が育むことが出来る本を揃えて欲しい。松戸市の新しい図書館に期待しています。	郷土に関する資料や、過去に出版された資料的価値は高いが新刊本中心の書店には並んでいない本など、図書館は過去の蓄積された知識が大切に保存されています。図書館はそのような人類の知的財産を守り、育て、次世代につなげるよう努力してまいります。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
48	27	(8)今後の松戸市立図書館が目指すべき方向性	課題を施設・設備(ハード)とそれ以外(ソフト)に分けるべき。これにより、短期にできる課題と中長期的課題に分類できる。また、解決策も立案しやすくなる。	第7章資料p.60から64のとおり、図書館整備計画審議会において提言をいただいておりますので、今後検討してまいります。	なし
49	27	(8)今後の松戸市立図書館が目指すべき方向性	松戸の特色である19分館について述べる。100㎡未満9館はその立地面積から止むを得ないと思いつつ、総じて教養と娯楽と児童のための一昔前のママの様相だ。私は200㎡未満9分館に特定分野の蔵書による特色づけが話題を呼び、市民の関心と活用が増えると思う。たとえば、(1)防災専門図書館「千代田区平河町に関係図書15万5千」(2)歴史専門図書館(3)広告専門図書館「港区東新橋に関係所蔵2万5千」(4)世界の童話図書館「船橋市本町に世界の絵本1600冊」(5)医事専門図書館(6)起業専門図書館といった具合に蔵書とその専門現存の図書館とのネットでニーズに応えられれば知のネットワークになろう。そしてどの分館にも同タイトルの小説などでスペースを占める愚から脱するべきではと考える。	特色のある分館づくりを、施設の形態や機能の見直しを含めて検討してまいります。	なし
50	28	(8)今後の松戸市立図書館が目指すべき方向性	「ゆったり滞在して閲覧できる環境整備」がこの市財政逼迫の折必要かどうか、実現できるかどうか、不透明である。場合によっては、公立図書館をやめ有料施設にしてまでこれを実現しようとしているのか、まったく方向性が伝わってこない。(図書館法に定められた公立図書館をやめれば、受益者負担での設備投資が可能となる)	「ゆったり滞在して閲覧できる環境整備」は、図書館が地域コミュニティの中核となるために必要な環境整備だと考えております。	なし
51	30	第3章 基本理念	個別の指摘は各ページで行うが、生涯学習および社会教育と、本計画でいう図書館との関係が不明確である。まず、「社会教育における、これからの図書館の役割」を宣言することから始まるのではないか。「社会教育計画」においても、ハードは「生涯学習センター」といい、ソフトは従来組織のままなど支離滅裂の計画である。1)『図書館はMLA連携や統合によって「生涯学習センター」に生まれ変わる』ぐらいの理念を表明すべきではないか。「まなび」全てを図書館では提供できない。2)『生涯学習あるいは社会教育において、「知」の一部である図書の提供に限定する図書館とする』と図書館機能を限定してもよい。	図書館は生涯学習の中核となる施設であるという考えから、知識・情報を仲立ちに人を結びつけることも必要と思われます。「知」との出会いとは書物だけの「知」だけではなく、様々な人々が人生の経験から身に付けた「知恵」も含んだ考え方をしています。	なし
52	30	第3章 基本理念	まつど未来創造図書館本当にそれが生きたまちづくりでしょう	地域コミュニティの基盤となり、地域の活性化に努めてまいります。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
53	34	第4章 松戸市立図書館が目指す図書館像	本館の整備にあたり、地域資源の活用や、観光スポットの回遊性を高めるような総合的な計画を必要としている。・本館 + 読書推進センターを拠点として改修、建て替えを行う場合、そこを拠点として松戸駅西口エリア、江戸川の回遊性を踏まえた提案が必要となる。+ 東京電力内の空き部屋など、一時的措置として、まちに拡散する書庫というのもよいのではないか。・春雨橋脇の駐輪場用地、戸定前駐車場用地に新築の場合 戸定邸、坂川エリアの観光拠点として、カフェや、コミュニティーセンター的機能も可能となる。またP43のように地域の歴史的価値を高めるような展示が検討できる。	本館の整備については、松戸駅周辺まちづくり基本構想等との整合を図りつつ、具体的な内容については、今後策定を予定している基本計画や基本設計などの中で検討してまいります。	なし
54	34	第4章 松戸市立図書館が目指す図書館像	[松戸駅西口ダイエー5Fや新松戸ビルといった遊休不動産の利用の可能性]複数の建物を利用し、街中に図書館をひろげるこれは私有物件ふくめてさらに複合的な計画となり実現のハードルは高いが、遊休不動産の活用がもめられる昨今、創造的な事業として、注目されることになるのではないかと	具体的な施設整備の内容については、今後策定を予定している基本計画や基本設計などの中で検討してまいります。また、各地で行われている「まちライブラリー」のような事例も参考にしながら地域に図書館が広がる支援も検討してまいります。	なし
55	34	第4章 松戸市立図書館が目指す図書館像	[松戸駅東口官舎跡地のリノベーションにより再利用]市庁舎の建て替えなど、と複合的な計画となるとおもわれるが、例えば、川口市立アートギャラリー・アトリアのような公園といったいとなったギャラリーなどをもうけ、川口で行われているような、「地域の若手作家展」、「伝統工芸展」というように社会教育といったいとなったプログラム運営を行えるのではないかと。	具体的な施設整備の内容については、今後策定を予定している基本計画や基本設計などの中で検討してまいります。また、図書館だけでなく市民文化の発展につながる機能等、様々な機能の融合を検討してまいります。	なし
56	34	(3)「まつど」の歴史と文化を伝える図書館	「MLA連携をする」としているが、本機能(松戸の歴史・文化)の主体は博物館など他の社会教育施設であろう。本計画で図書館の役割を明確化していないが故の指摘である。	p.34については本機能のイメージを表すものです。	なし
57	34	(4)本を通じて子どもを育む図書館	貧富の差があるので、夏冬冷暖房を目いっぱい使える家と使えない家とがある。学校の図書館を休暇中も土日も全日程開館して、冷暖房もかけっぱなしにしないと。市長が率先してそうすべき。じゃないと格差が埋まらない。子供たちがみな来たらとても全員座れるような席数はないから、子供の読書推進というのは、市立図書館がどうにかできるもんじゃない。	子どもの読書活動の推進については、図書館だけではなく、学校や家庭、地域等と連携した取組みを進めてまいります。	なし
58	35	第4章 松戸市立図書館が目指す図書館像	外国語の新聞や雑誌、資料などが置いてあり様々な国の人が利用できるとありますが、基本的に利用者は松戸市民であり人口割合から考えても大半が日本語で事足りると考えます。そもそも現状で大幅に不足している資料や書籍は日本語のものが圧倒的であり、優先順位を考えるにこの方針を盛り込むのは時期尚早ではないでしょうか？	今後の具体的な蔵書整備計画の中で蔵書の構成を考えてまいります。公共図書館の役割として、情報格差の是正において少数の方々についても配慮しなければならないと考えています。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
59	35	第4章 松戸市立図書館が目指す図書館像	現在の松戸駅周辺を見渡す限り、こうした広い空間を確保するのは難しそうに思えますが、高齢化により図書館滞在のニーズは増えそうな気がします。環境だけでなく、人員の滞在スペース(収容人員数)についても、ご検討いただきたいと思えます。	滞在スペースを含め、具体的な施設整備の内容については、今後策定を予定している基本計画や基本設計などの中で検討してまいります。	なし
60	35	第4章 松戸市立図書館が目指す図書館像	各分館に外国語の辞書は8か国語ぐらいおいてほしい。広辞苑と漢和辞典も。英語の大辞典は最低2冊。昆虫図鑑、鉱物図鑑、爬虫類図鑑、哺乳類図鑑、植物図鑑、人体解剖図巻、とかも、その道のプロや学者が使うようなものを置いてください。最近新京成もJRもどんどん売店が廃止になってコンビニや本屋でも英字新聞や雑誌を打っている所が少ないので、いっそ図書館で売ってほしい。分館は狭いが、たいてい市民センターの中だから、別にPCが使えるのなら、図書館の外でもいい。	資料の収集については、松戸市立図書館図書選定基準及び松戸市立図書館資料収集方針に基づき行っています。また資料の選択については、所蔵資料の内容、利用者のリクエスト等を考慮しながら、図書選定会議等の中で検討してまいります。	なし
61	37	第5章 図書館像を実現するための基本方針及び具体的な施策	具体的な施策は基本計画に盛り込むべきものではないか。本計画は基本方針を纏めたものであるはず。基本方針の補足説明として具体的な施策を掲載なら例示とすべし。施策を整理し、その手段を明確にする基本計画の足かせにはならない。	それぞれの基本方針を具体的なイメージが理解できるように表現しております。	なし
62	38	(1)「知」と出会い人と人をつなぐ図書館	あくまで、図書館は図書を通じた「知」との出会いであり、そのほかは、他の組織や施設が担当している。ましてや、人と人をつなぐことは、図書館ではなく生涯学習センター(市民センター含む)の役割であろう。図書館を含めた生涯学習センター組織には賛成であるが、本計画で図書館の位置づけ・役割を明確化していないが故の指摘である。	これからの図書館は生涯学習の中核となるべく、従来の役割にとらわれない考え方をしております。新しい知識の創造が、図書だけでなく図書や経験から得た知識や情報をもつ人々との交流から始まることも期待されると考えております。	なし
63	41	(2)「くらし」や「仕事」に役立つ図書館	文字の大きさを変えられたり、音声読み上げができる電子書籍は、シニアにも受け入れられてくると思われる。また、松戸にまつわる古い資料を電子化して誰でもが簡単に見れるようにすれば、郷土愛が醸造されるきっかけになるだろう。	電子書籍は利便性の向上だけでなく、新たなサービスの提供にもつながることから導入について検討してまいります。また、郷土資料の電子化については、博物館等と連携して研究してまいります。	なし
64	41	(2)「くらし」や「仕事」に役立つ図書館	蔵書数については、同じ本を複数購入するよりも、リクエストのあるものを1点ずつ確保することを優先していただきたいと思えます。そうしたニーズが満たされた上での余力で、重複資料の購入に振り向けてほしいと思えます。	資料の収集については、松戸市立図書館図書選定基準及び松戸市立図書館資料収集方針に基づき行っています。複本については、基準に則り、個別資料の状況を考慮しながら、図書選定会議の中で検討してまいります。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
65	41	(2)「くらし」や「仕事」に役立つ図書館	「行政資料や各種団体のパンフレット類についての積極的な収集」とあるが、行政資料について行政資料センターとの関係をどうするのか。権限も含め、教育委員会組織の図書館に同センター以上のことはできないと考えるが。	図書館において行政資料やパンフレット類を提供することは、様々な行政情報を知っていただく機会を増やすものとして有効と考えております。	なし
66	41	(2)「くらし」や「仕事」に役立つ図書館	第5章の(2)について、個人的経験として身内が癌に罹患したとき、情報を得るのに苦労しました。図書館が適切な情報(取得方法)を提供してくれるのはどんなにありがたいことでしょうか。政策立案のための課題解決支援も目からウロコです。たとえば、原発事故が起きた時には市民が知りたいこと、知るべきこと、過去(チェルノブイリなど)の対策例など、積極的に情報コーナーを設けてくれるのでしょうか。また行政資料だけでなく各種団体のパンフも置くというのも、「まなび つながる」姿として歓迎です。	市民の「知りたい、分からなく不安だ」の声に応えられるよう支援の充実を図ってまいります。	なし
67	42	(2)「くらし」や「仕事」に役立つ図書館 ③ 課題解決のための情報活用支援	「利用者の情報リテラシー育成を図ります」とあり、その利用者は図書館利用者のことであろう。しかし、情報リテラシー教育は年代を問わず、その必要性が謳われている。独居高齢者の見守りサービスをタブレットで行う時代である。それらを含め、図書館利用者に限らない幅広い情報リテラシーに関する社会教育が必要である。もっと広い視野での計画内容が求められる。本計画で図書館の役割を明確化していないが故の指摘である。	利用者は図書館を利用する方だけでなく市民全般を考えております。今後は、適切な情報を取捨選択し評価する方法など、単に機器の操作だけでなく、市民が情報化社会を生きるうえでの情報活用能力の育成に努めてまいります。	なし
68	42	(2)「くらし」や「仕事」に役立つ図書館 ⑤ 政策立案等のための課題解決支援	松戸市行政職員および議員は自らに課せられた政策立案に図書館職員の支援をうけなければならないほど貧弱なのかと驚いてしまった。それなら、配置換えをして、図書館職員を行政計画部門に起用したほうが早い。求められた情報を提供することと、課題解決支援とは大きな差がある。	政策判断に必要な様々な情報を効率的に提供することも支援のかたちと考えております。	なし
69	42	(2)「くらし」や「仕事」に役立つ図書館 ⑤ 政策立案等のための課題解決支援	議会図書館を整備(司書の配置など)し、公共図書館と連携して議員の政策立案支援を。	松戸市においても議会図書室は整備しておりますが、十分な連携体制はできていないことから、今後連携を深めてまいります。	なし
70	43	(3)「まつど」の歴史と文化を伝える図書館	(3)まつどの歴史と文化を伝える図書館づくりには松戸市立博物館との強い連携を望む。また媒介として博物館友の会への協力依頼も	教育委員会として博物館も含めた社会教育施設との連携を進めてまいります。	なし



No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
71	45	(4)本を通じて子どもを育む図書館	本を通じて育む(成長)ということであれば、相手は子どもだけではない。全世代であろう。「子ども」といった対象表現を変更すべき。その場合、図書館像(2)と(4)は統合され则认为るが、対象を子どもとするなら、「読書への興味深化や読書習慣を醸成する図書館」にすべきでは。	ここでは子どもの読書活動について記載していません。	なし
72	45	(4)本を通じて子どもを育む図書館	本を通じて子どもを育むということであれば、一義的には家庭であり、次に学校図書館であろう。それらを支援することが図書館の役割であることは否定しないが、役割分担を明確にする必要がある。子どもにとって、一番近い場所は家庭であり学校であるからである。本計画で図書館の役割を明確化していないが故の指摘である。	今後、図書館整備計画をもとに具体的な図書館サービスを実現して行くなかで、役割分担は必要になると考えております。	なし
73	45	(4)本を通じて子どもを育む図書館	子どもたちに読書習慣を身に付けてもらうための方法は幾つかある。本計画にない視点として「読書に対するインセンティブ」を提案する。幾つかの自治体で行っている、読書手帳・読書通帳制度も一例である。記録だけでなく、一年に一度程度、「がんばったで証明書」を発行するなども重要と考える。	生涯にわたる読書習慣を身につけるには、内発的動機付けが重要と考えます。読書通帳等を活用し、子ども同士のコミュニケーションによる読書意欲の向上や、子どもたち自身の読書の振り返り、目標を立てた読書活動など主体的な読書を促すとともに、司書による読書相談を行うなど、子どもの発達段階に合わせ、特定の分野に偏らない幅広い読書や、より思考力や読解力、想像力が身につくような読書活動を支援してまいります。	なし
74	45	(4)本を通じて子どもを育む図書館 2 学校及び学校図書館との連携	「授業などに対応できる資料の充実」とある。小中高大、どのレベルの授業を想定しているか不明であるが、小から高までの授業であれば多くは短期間に必要となり、ひとつの資料を複数冊必要とする。また大学であれば専門的なものである。それらは公立図書館でなく、学校図書館で準備し、利用者が共有すべきものであろう。学校図書館の予算不足の解決を公立図書館に求めるべきではない。	主に市内公立小中学校を想定しています。幅広く本を知る公共図書館の専門職員が積極的に学校を支援することは、学校教育を支えるうえで重要と考えております。支援の例として、複本を用意するのではなく、教科単元・テーマに関連した多種多様な資料の提供も授業の支援に有効な方法と考えております。	なし
75	45	(4)本を通じて子どもを育む図書館 2 学校及び学校図書館との連携	学校司書の常駐を。司書が常駐する学校は、学力・生活面の向上がみられるといわれる。学校現場からの澤谷委員の情報は貴重だと思う。	学校図書館の環境整備は子どもたちの読書活動に大きな影響があることから、学校支援を進める中で、学校司書との連携を図ってまいります。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
76	45	(4)本を通じて子どもを育む図書館	第5章の(4)について、現在の図書館本館の子ども図書館は、職員の方のメッセージが一番感じるところですが、場所が狭く対象が小学生以下という感じなので、スペースも対象も広がるのが期待できそうです。私が当面期待するのは「学校及び学校図書館との連携」です。まず人を育てることが急務ですが、建物を建てるより意欲さえあれば、着手しやすいところだと思います。地域館、分館がその地域の学校と連携することで、学習に広がりや深みが期待できるでしょう。それにしても学校に司書が常駐しないのは問題です。早急な改善を求めます。	学校教育部と連携し、学校司書を含めた学校図書館の環境整備や、学校図書館の活動を支援してまいります。	なし
77	47	(5)思い思いに過ごせる広場のような図書館	図書を通じた「知」との出会いに必要な機能とは思えない。少なくとも財政逼迫の折に優先順位が高いとも思えない。公立図書館をやめ、有料施設にしてまでこれを実現しようとするなら、否定はしないが。	年齢や障害の有無等に関係なく、様々な市民の方々が心地よく利用できる環境は、公共施設として必要な整備だと考えております。	なし
78	47	(5)思い思いに過ごせる広場のような図書館	「快適で利用しやすい図書館施設の整備」や「親しみやすく心地よい空間の工夫」は生涯学習センター(市民センター)に求めるべき機能である。利用料が取れない公立図書館にはふさわしくない機能といえる。本計画で図書館の役割を明確化していないが故の指摘である。	どちらも公共施設として必要な条件と考えております。	なし
79	47	(5)思い思いに過ごせる広場のような図書館	第5章の(5)に加えてほしいものがあります。世界の情報だけでなく、地方の情報を得たいと思っています。現在、福島の地方紙が置かれています(寄贈だそうです)、全国紙が伝えない地方の様子が知りたいのです。たとえば沖縄。	地方紙の全てではございませんが、地方紙も含めた新聞記事が検索できるデータベースが本館3階でご利用できます。	なし
80	47	(5)思い思いに過ごせる広場のような図書館	子育て世代としては教育の充実した街を居住地として選びたいので、図書館も子育て支援の一環として重要。予算をかけないでも、建築・インテリアの専門家に頼むなどして、空間性を改善してほしい。	空間については、今後策定を予定している基本計画や基本設計などの中で、専門家の意見も取り入れながら検討してまいります。	なし
81	48	(6)自ら学び行動する図書館	第5章の(6)で、管理運営について市民参加が謳われていますが、ぜひ中央図書館設計の段階から市民参画ができますように。	今後の具体的な建設計画の際には、市民参加のワークショップなどの手法で市民の皆様の声を反映できる仕組みを検討してまいります。	なし
82	49	(6)自ら学び行動する図書館 3松戸から発信する実践研究	図書館モデルの発信そのものが市民(または図書館利用者)にどのようなメリットがあるのか不明確。まがりなりにも1、2は市民にフィードバックされることは想像できるが、むしろ、「先端的図書館モデルを構築し、市民の満足度向上に貢献する」といったほうが良いのでは。	市民サービスの向上につながるよう、図書館サービスモデルを構築してまいります。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
83	51	第6章 施設整備及び管理運営の考え方	インターネット等の活用によって、支所、市役所、等松戸市施設に図書サービスの窓口を設け（一般職員が兼務できる程度）全体として、利便性が向上するようにしていく。各サービスとといったとなった窓口にすることによって、「くらしや仕事」に役立つ図書窓口とする	サービスの向上については、引き続き様々な角度から方策を検討してまいります。特に、行政のネットワーク連携を深め市民の皆様に役立つ図書館を目指してまいります。	なし
84	52	第6章 施設整備及び管理運営の考え方	重点拠点から除外された施設に関しても、予約、貸出サービスや、学び合いの拠点としてのラウンジ、自習室等を設け、[学び合いの拠点]としての施設整備を行う。	重点拠点の有無について計画書には記載していませんが、具体的な施設整備の内容については、今後策定を予定している基本計画や基本設計などの中で検討してまいります。	なし
85	52	(1)施設整備について	松戸駅周辺に新たな中央図書館を整備すること。いつまでに、ということがないのが残念で不安ですが。図書館の姿として滞在型施設である、というのうれしい。子どもも大人も腰を下ろして、資料を探したり本を読んだりできる、ミーティングもできる空間ができれば、わくわくします。	中央図書館の建て替えについては、公共施設の再編や他の計画との整合を図りながら検討してまいります。今後の図書館は、地域の交流拠点となり市民活動の支援を図ってまいります。	なし
86	52	(1)施設整備について	ゆとりのある読書・学習スペースやグループワークできる場所を設けていただきたい。また、喫茶コーナー内でも本が読みたい。そして、立地としては駅に近い場所であってほしい。近いことで、多くの利用者が集う場所になっていくだろう。	現在は本館、分館の狭隘化により新たな読書スペース等を設けることはできませんが、新たな施設整備の中で具体的に検討してまいります。	なし
87	52	(1)施設整備について	分館の選択的運用と、現在市内各駅に対応して分館があることの有用性はいなめないが、それによって、管理コスト、運用の非効率性がうまれてしまっているように思える。時期を分けて（10程度の中期スパンにて）重点的に施設改善をしていくことで、充実した図書環境を形成することを望む。具体的提案として・分館と呼ばれる施設を 約半数程度に集約し（地域館）、重点的に改修、蔵書整理をおこなう。それらの館を中心に司書を配置することによって、現時点より充実した蔵書と、図書サービスが運用できるのではないかな。	分館については、分館の役割や機能の見直しを図った上で、今後必要な整備を検討してまいります。	なし
88	52	(1)施設整備について	施設整備の具体的な内容」が記載されていない。そのため、別の計画（実施計画等）であってもいいが、今後整備が立ち上がった場合にはどこを見ればいいのか、を教えてください。	具体的な施設整備の内容については、今後策定を予定している基本計画や基本設計などの中で検討してまいります。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
89	52	(1)施設整備について	分館に図書を保管するスペースが無い事について少子化が進んで使用しなくなった校舎、教室を有する市内の小中学校内に書庫あるいは児童書の図書館を整備することはできないでしょうか？土日に学校のグラウンド開放をしているように、整備した図書室を子供達が利用できるようになれば新しく「箱モノ」を作ることによりコストをかけず、図書や確保したい人材育成に予算を回せるのではないかと思います。また、松戸市図書館の優れた点として、ネットで予約した図書が予約さえなければほぼ翌日に最寄の分館で受け取ることができる配送能力があると思います。新しく蔵書を配置する拠点からも各分館に同様の配送が実現できれば「読みたい本が無い」という状況を改善できると思います。	学校等を活用することについては、分館の役割や機能の見直しを図った上で、関連部局と連携しながら実現性を含めた検討が必要だと考えております。	なし
90	52	(1)施設整備について	市民が誇り、我が物として活用する手立てと市の財政から「地方債」の特にミニ公募債の発行を検討しては如何と提案します。(具体案省略)。中央図書館設計の折は近接して200人弱の映像室を併設して欲しい。これが知のネットワーク、人と人をつなぐ最良の交流と学習のスペースとなると信じるからです。	具体的な施設整備の内容については、今後策定を予定している基本計画や基本設計などの中で検討してまいります。	なし
91	53	(1)施設整備について	中央館都市施設のコンパクト化をはかってもらいたい他の市民利用施設と合体、集約化など	施設整備に関しては、松戸市公共施設再編整備基本方針等との整合を図ってまいります。	なし
92	52	(1)施設整備について	もちろん子育て支援策として予算を付けて、中央図書館の建て替えを積極的に検討してほしい。	中央図書館の建て替えについては、今後公共施設の再編や他の計画との整合を図りながら検討してまいります。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
93	52	(1)施設整備について	「100万冊程度の蔵書数をそろえることを理由の中心にすえて、新たな中央館整備が不可欠」という論旨は理解できない。増えた蔵書約50万冊を全て中央図書館に置くつもりか。1)これからの時代を見据え、電子書籍の大幅導入により蔵書置き場は抑えられる。2)空家などの倉庫利用により、安価に置き場を準備できる。3)現在の中央図書館での貸し出し冊数は市全体の10%強である。その規模の図書館1館のみ整備する必要はない。4)多くの人が集まることと、図書館利用は無関係。集まるのは図書館目的ではないだろう。等々。図書館整備と名を借りた、中央図書館建設には強く反対する。「絵に描いた餅」でしかない。松戸駅周辺整備計画に合わせる必要はない。松戸市の全体最適を考えた「公共施設再編整備計画」と整合性をとるべき。	1)現時点では図書館で提供できる電子書籍の種類も限られておりますが、電子書籍は蔵書の保管や管理の効率化だけでなく、新たな障害者サービスや、非来館サービスの提供等、利用者の利便性向上につながると考えておりますので、今後、蔵書の構成を見直す中で電子書籍の特性を踏まえた導入を検討してまいります。 2)今後の図書館運営において、書庫の確保は必須になることから、物流や管理等の効率化を考え実現に努めます。 3)中央図書館はレファレンスサービスの中核を担う必要があることから、市民の課題解決に役立つ資料の充実を図り、人口規模等を踏まえ適正な蔵書数、分館を含めた全体の蔵書構成を検討してまいります。 4)様々な人が集まる図書館は、多様な価値観をもつ人々が交流し対話や意見交換することで、お互いの理解を深め、一人では気付かない新しい視点を得るきっかけになり、新たな知恵が生まれ、より良い社会を築くために必要な場所になると考えております。	なし
94	54	(2)管理運営について	高齢者が増える中、遺産としての蔵書類の活用についても検討してはどうか	蔵書類の活用については、様々な角度から有効な活用方法を検討してまいります。	なし
95	54	(2)管理運営について	管理運営組織と関連組織の関係が不明確である。よって、管理運営組織の有効性が不明である。教育委員会、社会教育委員会、および新設の総合教育会議との関係を明記すべし。	管理運営の詳細については、今後の基本計画等において検討してまいります。	なし
96	54	(2)管理運営について	図書館協議会の設置を望む。名目だけの協議会であるなら、むしろ無い方が良いと思うが、現在の図書館整備計画審議会のように図書館に対する熱い思いと高い見識を持つ方々で構成される協議会を、市民参加で設置してほしい。図書館の管理運営に市民の声を反映し、図書館が提供する施策やサービスを客観的に判断する、図書館評価も行ってほしい。(松戸市に図書館協議会が無いことは、他市の方々から驚かれます)	図書館の運営にあたり、適切な評価をいただきサービスの改善につなげていくことは図書館経営の視点からも重要ですので、今後検討してまいります。	なし

No.	頁	項目	意見の趣旨	市の考え方	修正
97	60	(1)松戸市図書館整備計画審議会 4松戸市立図書館における短期的課題に関する提言	「2. 市民向け講座について」で提言されている講座の運営について、本計画案の方ではあまり言及されていないように見えます。図書館の企画による講座の運営のほか、ボランティアや図書館サポーターの協力によるもの、市内他機関、企業によるものなどさまざまな主体が考えられますので、計画の中で言及していただければと思います。	図書館が主体となる講座だけでなく、様々な機関、団体が主体となる講座においても連携を進めます。また図書館の講座の企画についても、NPO、ボランティア等との協働を進めてまいります。	なし
98	60	(1)松戸市図書館整備計画審議会 4松戸市立図書館における短期的課題に関する提言 5松戸市図書館整備計画策定に関する提言	大変重要な、もっともな提言なので、是非計画に反映させてほしい。今後も市民の声を聞く機会を設け、計画作り及びその実現に反映させて下さいますよう切望いたします。	今後の具体的な図書館建設等の計画においては、市民の声を広く機会を設け、市民の意見を反映した図書館づくりに努めてまいります。	なし
99	65	(2)図書館シンポジウム	「参加者からの主な意見」が掲載されているが、掲載するならフィルターをかけず、全意見を掲載すべき。もしくは、意見者のプロフィールが不明なので、掲載しないといった選択肢もある。	図書館シンポジウムで配布した参加者アンケートに記載されていた意見のうち、主なものを掲載しています。	なし
100	65	(2)図書館シンポジウム	当日シンポジウムに参加したが、司会の不手際で質疑応答の時間が全くなかったと記憶しています。上記ページに記載されている「参加者からの主な意見」が、アンケートに記入されたものを掲載しただけのものならば、その旨をきちんと明記すべきです。あの程度のシンポを1回開いただけでは市民の声を聞いたことにはなりません。	図書館シンポジウムで配布した参加者アンケートに記載されていた意見のうち、主なものを掲載しています。今回のパブリックコメントも含め、今後の基本計画等についても、市民の方々の声を反映させながら策定してまいります。	なし